

震災復興等に関する取り組み状況

H23. 11. 17 仙台市男女共同参画課

1 施設の被害と復旧状況

○ エル・パーク仙台

(被害状況)

- ・ 6階スプリンクラー破損による漏水
- ・ 天井吊物損傷 (6階ギャラリーホール、スタジオホール)
- ・ 壁面亀裂多数、音響・照明等一部設備破損 (全館 (5・6階))

(復旧状況)

- 3月11日 (金) 臨時休館
- 6月16日 (水) 5階部分再開
- 9月21日 (水) 全館再開 (6階ギャラリーホール、スタジオホール再開)

○ エル・ソーラ仙台

(被害状況)

- ・ 室内用間仕切り倒壊、移動書庫の一部倒壊等

(復旧状況)

- 3月11日 (金) 臨時休館
- 4月5日 (火) 再開 (研修室等貸出業務、相談業務を通常通り実施。市民交流スペース・図書資料ラウンジを10時～17時開放。)
- 6月13日 (月) リニューアル工事のため休館。相談事業は通常通り継続。
- 10月25日 (火) リニューアルオープン

2 被災者支援に関する主な対応

- 「女性の悩み災害時緊急ダイヤル」開設 (3月29日～7月23日) 324件【別紙1】
- エル・ソーラ仙台29階を「こころと暮らしの立ち直りを支援するスペース」として開放
- ホームページに「被災女性支援のためのポータルサイト」を開設

○ 「せんたくネット」(「せん」だいの女性たちが被災した女性の本音を「たく」さんくみとって、一緒に解決する「ネット」ワーク。)

洗濯代行事業 (4月17日～8月10日)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所で女性の下着を干す場所がないとの声から実施。 洗濯預かり 520件 洗濯ボランティア登録女性 延 287名 連携団体 イコールネット仙台ほか
「ブラ・サニタリーを贈ろう」(収集 5月下旬～6月3日)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の女性から、自分に合うサイズの下着がない等の声があり、全国に提供を呼びかけた。 集まった枚数：約 2,300枚 配布：避難所4ヶ所(岡田小、若林体育館、七郷市民センター、南三陸ホテル観洋)
MDG ガールズプロジェクト～女子による女子のための震災ピアサポート (継続中)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所等において、10代の女子が自分の気持ちを押しさえ込んでいる状況を把握し、10代女子向けの支援を企画。 ・宮城学院女子大学、ドレメファッション芸術専門学校の女子学生の協力を得て、企画実施。
「プレゼント」を贈ろう！	<ul style="list-style-type: none"> ・10代女子に向けた物資ではない「プレゼント」を募集。 ・7月末で全国の約200名以上の方から送付。 ・「ティーンズの女子会」等で配布。
ティーンズの女子会	<ul style="list-style-type: none"> ・10代の女子を対象に「女子会」実施。プレゼント、手作り作業、メイク、ファッションショーなどを行う。 7月31日(日) 榴岡公園 約80名参加 8月28日(日) ウルスラ英智祭 約60名参加 10月9日(日) 石巻ロックフェス ※ 名取市、南三陸町(予定)など今後年内2回程度開催予定
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿妻フェスティバル(8月20日石巻市)への参加

○ 実施を予定していた講座等を震災対応内容に変更

- ・「女性のエンパワメントシリーズ 「わたしをいたわる」から始めよう」(10回、延93名参加)
- ・子育てママの「こころの手当て」(4回、延31名参加)
- ・30～40代被災女性の語り合いの場 こころると～く(10月23日～3月まで全5回予定)

3 その他

- 3.11 を語る女性の集い（7月6日）【資料6】
- 東日本大震災復興に向けてのシンポジウム in 宮城（6月28日）【別紙2】
- 宮城復興・女性シンポジウム（8月24日）【別紙3】

【別紙 1】

「女性の悩み災害時緊急ダイヤル」の概要

1. 開設期間 平成 23 年 3 月 29 日～7 月 23 日

2. 相談件数 計 324 件

3. 相談者の概要等

(1) 性別

女	男	(計)
320	4	324
98.8%	1.2%	100%

(2) 年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	他	不明	(計)
1	27	87	73	51	37	17	6	25	324
0.3%	8.3%	26.9%	22.5%	15.7%	11.4%	5.2%	1.9%	7.7%	100.0%

(3) 居住地

市内	県内	県外	不明	(計)
235	56	24	9	324
72.5%	17.3%	7.4%	2.8%	100.0%

(4) 相談内容（複数回答有）

生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦・ 男女	親子・ 家庭・ 親族	人間 関係	DV	ハラス メント	その他 暴力・ 性暴力	暮らし	その他	(計)
3	39	14	7	106	66	11	45	2	5	66	10	374
0.9%	12.0%	4.3%	2.2%	32.7%	20.4%	3.4%	13.9%	0.6%	1.5%	20.4%	3.1%	

(5) 相談経路（複数回答有）

新聞	テレビ ・ラジオ	他の相 談窓口	家族・ 知人等	インター ネット	その他	不明	再利用	(計)
10	84	136	4	18	7	22	47	328
3.1%	25.9%	42.0%	1.2%	5.6%	2.2%	6.8%	14.5%	

(主な相談内容 特に震災に関連したことの一部)

■シングルマザー

- ・震災で仕事が休業状態。生活資金をどうしたらいいか。
- ・乳幼児を連れた母子家庭の人が安心して避難できる場所があるか。

■夫婦、パートナーとの関係

- ・震災のストレスなのか、夫からの暴力がひどくなった。実家に身を寄せたが、母は我慢が足りないという。安心していられるところがない。
- ・地震のイライラを夫が自分にぶつけてきて、夜眠れなくなった。

■家族、親族関係

- ・親戚が避難してきている。家のことをやるにしても、気を遣い疲れる。
- ・義父母と同居することになったが、以前から嫌みを言われるなどしてそりが合わなかった。ストレスがたまる。夫の理解もなく、限界を感じる。

■介護

- ・介護の必要な父を引き取ることになった。これからのことが心配。
- ・認知症で介護が必要な実家の親を引きとった。一日中親をみている必要があって、もう限界を感じる。どこか預けられるところはないか。

■地震に関して、こころの問題

- ・地震がこわくて一日中ビクビクしている自分が情けない。家族はこの恐怖心をわかってくれない。
- ・失業中。皆ボランティアをしたり仕事をしたりしているのに自分は何もうみだしていない。役に立てていない。何もしないでいると焦るし気も滅入る。

■子育て

- ・自閉症の子どもを抱えていて震災以来多動になり大声で暴れたりする。夫は災害対応の仕事で忙しく、ひとりで大変だ。
- ・イライラして、ストレスを子どもにぶつけてしまう。

■その他

- ・「被災者生活再建支援制度は世帯主が申請しないと行けない」と市役所で言われた。別居して2年で夫と暮らしてはいない。「世帯主がお金を渡してくれず困っている」といっても「世帯主と話し合うように」と言われた。世帯主単位の制度はなんとかならないものか。

【参 考】

「電話相談」の概要

1. 開設期間 平成 23 年 7 月 27 日～

2. 開設日時 月・水～土曜日 9 時～15 時 30 分

※ 火曜日、祝休日及びエル・ソーラ仙台の休館日を除く

3. 相談件数 計 236 件（10 月分まで）

4. 相談者の概要等

(1) 性別

女	男	不明	(計)
230	3	3	236
97.5%	1.3%	1.3%	100%

(2) 年代

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上	その他	不明	(計)
0	13	52	66	35	30	12	1	0	27	236
0.0%	5.5%	22.0%	28.0%	14.8%	12.7%	5.1%	0.4%	0.0%	11.4%	100.0%

(3) 居住地

市内	県内	県外	不明	(計)
164	45	10	17	236
69.5%	19.1%	4.2%	7.2%	100.0%

(4) 相談内容（複数回答有）

生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦・男女	親子・家庭・親族	人間関係	DV	ハラスメント	その他暴力・性暴力	暮らし	その他	(計)
45	101	14	18	116	83	20	45	3	10	16	8	479
19.1%	42.8%	5.9%	7.6%	49.2%	35.2%	8.5%	19.1%	1.3%	4.2%	6.8%	3.4%	

(5) 相談経路（複数回答有）

市・区役所	他機関	市政だより・市広報物	新聞・マスコミ	インターネット	当室広報物	知人	エル・ソーラ仙台	再利用	その他	不明	(計)
9	10	32	12	28	13	8	64	40	1	22	239
3.8%	4.2%	13.6%	5.1%	11.9%	5.5%	3.4%	27.1%	16.9%	0.4%	9.3%	